

台風接近に伴う農作物等の技術対策

【施設（野菜・花き・果樹共通）】

1 事前対策

<パイプハウス・温室共通>

- (1) 施設周囲の作溝により、施設内への雨水の浸入を防ぐ。
- (2) ハウス周囲にある飛散しそうな物は片付ける。
- (3) 加温機の煙突を片づける。また、オイルタンクの元栓は閉めて、本体が倒伏しないように十分固定する。
- (4) 出入り口の施錠や妻部の換気口等の固定を行う。
- (5) 農業用機械や器具は、風雨や浸冠水被害にさらされないように、格納庫等安全な場所に保管する。
- (6) 養液栽培等、停電による影響が大きい施設では、事前に自家発電機を準備する。

<パイプハウス>

- (1) フィルム浮き上がり防止のため、ハウスバンドの増し締めと本数の追加、ネットでの被覆、換気扇の運転等を組み合わせる。
- (2) 雨除けハウスはサイドフィルムを下ろし、妻部分もフィルムを張り、隙間風が入らないようにする。
- (3) 施設の強度が劣っている場合は、ハウスを補強する。また風速によっては被覆フィルムを剥ぐことも想定しておく。
- (4) 栽培終了しているパイプハウスは、被覆フィルムを剥ぐ。
- (5) 陽熱消毒中のパイプハウスは被覆フィルムを剥ぎ、地表面の被覆フィルムは飛ばされないように固定しておく。

<温室>

- (1) 引き違い窓は施錠等で固定する。
- (2) 天窓、押し上げが自動になっている場合は、手動に切替えて完全に締め切っておく。

2 事後対策

- (1) 施設の損傷、緩み等の有無を点検し、速やかに補修する。
- (2) 泥等を洗い流し、病害予防のため防除基準に基づいて低濃度の殺菌剤を散布する。
- (3) 停電復旧後は、直ちにタイマー等の調整を行う。